

# 多文化教育をモデルにした「総合的な学習の時間」の カリキュラム構築に関する調査研究

研究代表者 松尾 知明（初等中等教育研究部 総括研究官）

## 問題の所在

学問的な知の学際化、専門化、細分化が進む中で、高次の思考力・判断力や多様な視点に立つ総合的な問題解決力などを育成する課題などが大きくなってきている。そのため、総合的な学習の時間についてのカリキュラム研究は、これからのわが国における学校教育カリキュラムのあり方を考えていく上できわめて重要であるといえる。

しかしながら、総合的な学習の時間は、学校をベースにした特色あるカリキュラムづくりが全国で進んでいる一方で、全体計画の作成、カリキュラム理論の確立、客観的な評価の問題など、その課題も多い。

これらの課題を検討するにあたり、本研究ではアメリカ合衆国の多文化教育に着目した。多文化教育は、マイノリティの視点にたち、社会的公正の立場から多文化社会における多様な人種・民族あるいは文化集団の共存・共生をめざす教育理念であり、その実現に向けた教育実践であり教育改革運動でもある。

多文化教育は、国際理解、福祉、環境、メディア、人権、地域など、総合的な学習の時間と多くの重なり合う内容領域をもつ。また、その半世紀にわたる歴史のなかでさまざまな試みが実施され、各教科との合科的なカリキュラム編成も進んでいるなどカリキュラム研究の視点からも興味深い。

そこで、本研究は、教育の目標、内容、方法、評価の点から、多文化教育のカリキュラムモデルを解明することを通して、総合的な学習の時間のカリキュラムデザインのあり方を再考しようというものである。

## 研究の目的と方法

本研究は、アメリカ合衆国の多文化教育の理論と実践を手がかりに、わが国で実施されている総合的な学習の時間のカリキュラムを革新するためのモデルを解明することを目的としている。

具体的には、多文化教育の理論や実践の現状を捉えるとともに、その蓄積された知見をもとに、教育の目標・内容・方法・評価の視点から多文化教育のカリキュラムモデルを解明することを通して、総合的な学習の時間のカリキュラムを発展させるための示唆を得たい。

文献研究については、多文化教育のカリキュラムに関して、教育目標、教育内容、教育方法、教育評価の項目ごとに先行研究の検討を行った。総合的な学習の時間に関しても、カリキュラムデザインの視点から文献研究を進めた。また、アメリカ合衆国ワシントン州、カリフォルニア州、ウィスコンシン州、ニューヨーク州において海外調査を実施し、多文

化教育についての文献の収集、専門家へのインタビュー、先進的な取り組みをもつ学校での訪問聞き取り調査を行った。

## 研究の成果

本研究では、スリーター(Sleeter, 2005)の枠組みである、教育目標の設定、知識の選択、教育活動の組織、教育評価を手がかりに、多文化教育のカリキュラムデザインのある方について検討した。総合的な学習の時間のカリキュラムを改善していくために得られた知見として、たとえば以下の点が挙げられる。

1. 教育目標については、意味のある学習活動にするためにも、各学校で目標や内容をつくるにあたり、先行研究を行って学問的な裏付けのあるものにするとともに、KNO W/D O/B Eブリッジを用いて目標の具体化を図る。
2. 教育内容については、大きな概念を中心に、らせん型の構造をもつスコープとシーケンスを設定し、内容系列表を作成する。また、具体的な学習活動レベルでのカリキュラムを編成していくには、カリキュラム・マッピングという手法を活用にする。
3. 教育方法については、自分自身のパースペクティブの内省を図っていくような「反省的アプローチ」、問題的場面－問題の形成－仮説の形成行動による仮説の検証－解決された場面といった段階を踏まえた「問題解決アプローチ」が有効である。
4. 教育評価については、多種多様な評価情報・資料及びルーブリックを活用して客観的な評価をめざすとともに、評価と指導・学習の一体化を図る。また、カリキュラム評価を計画することが求められる。

なお、残された課題としては、本研究で得られたモデルを活用して、総合的な学習の時間のカリキュラムを実際にデザインし、現場で実施して、その有効性を検証することが挙げられる。こうした点については、今後の課題としたい。

## 本研究の報告書等

- ・ 科学研究費成果報告書 (2010年6月1日)  
<http://kaken.nii.ac.jp/ja/p/19530740>
- ・ 松尾知明、2010年3月、「多文化共生社会の教育とカリキュラムデザイン」東京学芸大学国際教育センター編『多文化共生社会の教育をめざすカリキュラムデザイン』(異文化理解教育カリキュラム・研究開発プロジェクト報告書)、19-31頁。
- ・ 松尾知明、2010年1月、『アメリカの現代教育改革－スタンダードとアカウントビリティの光と影』(14章、15章)東信堂、157-181頁。
- ・ 松尾知明、2010年3月、「カリキュラムと子ども」武内清編『子どもと学校』、学文社、62-75頁。
- ・ 松尾知明、2007年6月、『アメリカ多文化教育の再構築－文化多元主義から多文化主義へ』明石書店、1-209頁。